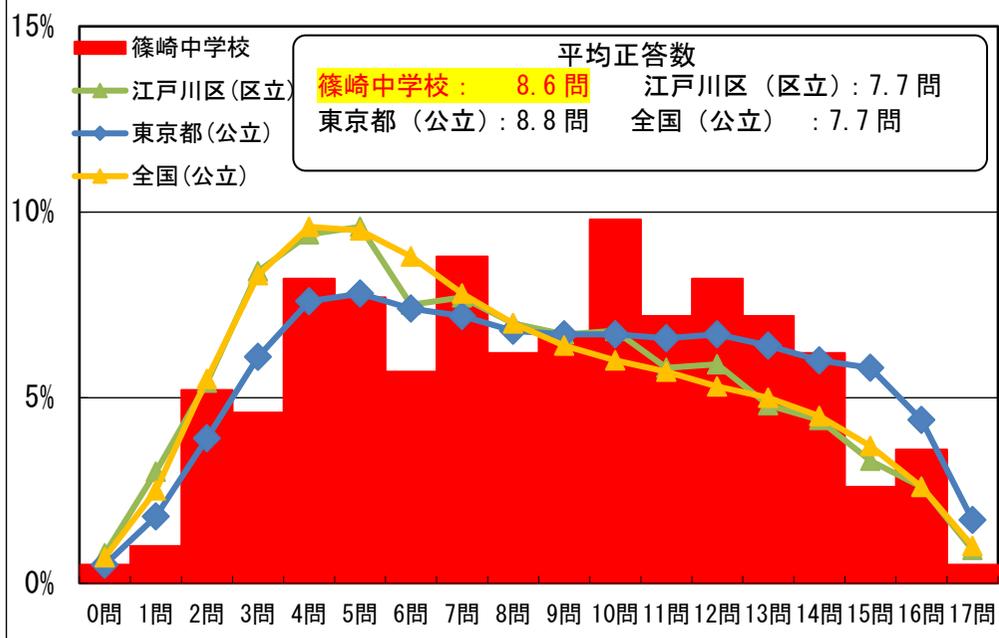


# 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 篠崎中学校

## 正答数分布

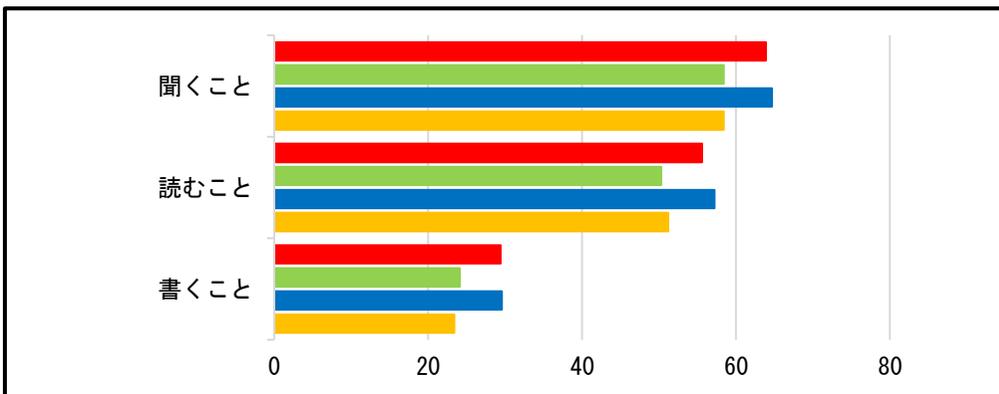
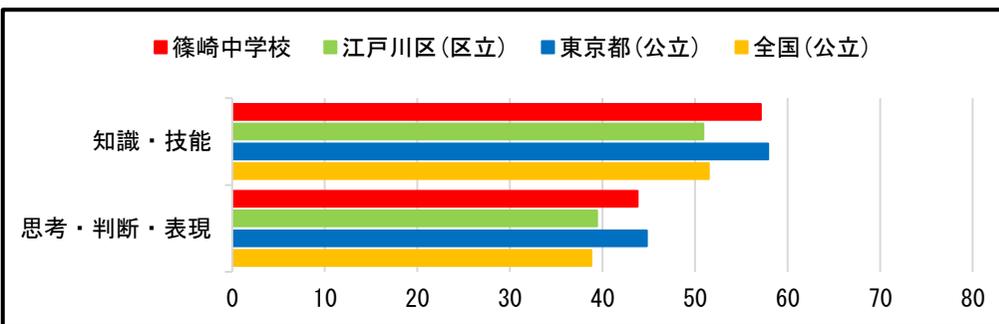


### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12~17問	B層 9~11問	C層 5~8問	D層 0~4問
篠崎中学校	28.3	23.7	28.4	19.6
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【平均正答率の差】

篠崎中学校	51%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	-1ポイント

%

### 【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】平均正答率全国平均+5.4%  
 問題形式別区分において、短答式の平均正答率が+7.2%と大きく上回った。

【授業改善】  
 学習前に自分の目標や解決した課題を明確化することで、主体的に学習に取り組み意欲向上を図る。